

**強戸北地区農業集落排水事業
太田市在住 会社員**

太田市の強戸北地区集落排水事業は、平成8年から建設工事を開始し平成13年度に完成、平成13年4月に供用を開始しました。施設は太田市の北部に位置し、北金井町、菅塩町、西長岡町の3地区を処理区としています。3地区ともに田畑が多く稲、麦、野菜作りなど農業の盛んな地域です。

施設ができる前は、汲取り式や単独浄化槽の家庭が多かったため、台所や洗濯などの家庭の排水が道路側溝に流れて、農業用水路や河川に悪影響を及ぼしていました。また、臭気等もあり、蚊・ハエ等が湧いて農業用水路や河川の水が濁っていたように感じられます。

処理施設の供用が開始されるとともに農業用水路や河川に変化が生じ、水に透明感が表われてきました。また、臭気もなくなり川がきれいになり小魚等も増えたように思います。他の住民の方からも「臭気がなく側溝がきれいになったね」との声が聞こえるようになりました。

供用開始から9年程の歳月が経ちますが、いろいろな事情で全ての家庭が施設を利用してはいる状況にはなっていません。地域住民と太田市とが「丸」となって協力し、早期に全ての家庭が施設を利用することを期待しているところです。

太田市において農業集落排水事業は、なくてはならない事業であり、農業用水の水質保全及び生活環境の改善に大きな役割を果たすことを確信しています。また、誰からも「太田

市は、きれいな街住みよい街」と言われるような街になる事を期待しています。

**山上地区農業集落排水事業
山上地区在住 利用者**

私達の住む山上地区は赤城山南面に位置し、群馬用水の幹線整備により豊富な水資源が耕地を潤し農業が展開されている地区です。

しかし、農業集落排水事業が実施されるまでの間は大多数の世帯の生活排水処理については単独浄化槽、合併浄化槽、あるいは浸透式の処理に依存していた状況でありました。

昨今の財政厳しい折りではありませんが、平成9年に行政当局のお骨折りにより本地区に待望の農業集落排水事業の施設(受益面積255ha)が一部供用開始となり、周囲のほとんどの世帯も接続を完了し、側溝の臭気もなく従来と比較した場合、農村生活環境の改善と公共用水域の水質保全等が格段に向上されてきているようにも思われます。

また、平成20年には本処理場敷地



内に汚泥乾燥機も併設され、汚泥乾燥処理施設により汚泥から農地還元を行う為の肥料へのリサイクルが行われております。今後の環境保全を担うより充実された施設の1つとして脚光を浴びております。私も少しばかりの耕地もありますので、機会があったらリサイクル肥料の効果も試してみようかとも思っております。

最近においては周囲の住宅の増加も影響し、接続割合もさらに増えて来ています。私の家も二十一年前の建築であり、当時の生活排水は単独浄化槽処理でありましたので、本事業一部供用開始に合わせ、早速切り替えて利用しております。浄化槽の汲み取り作業もなくなると臭気も改善され、快適に過ごしております。

私達の子供の頃は近くの小川で水遊び等をした記憶もあります。近年、地域全般的に言えることは、利便性の向上や生活様式の多様化とともに水路や河川が汚れて来ている傾向があるように見られます。それらに対応すべく、農業用水路や河川の水質保全・快適な生活環境を確保していくことは大切なことであり、また、それらを推進していくには農業集落排水事業は必要不可欠の事業の一つであると思えます。

今後下水道事業が実施されない各地区におかれましても、財政面等相当厳しい状況下ではあります。行政当局におけるさらなる住環境整備を進めて頂きたいと願う者の1人です。

「水、よみがえれ!キャンペーン」が行われました。

平成22年11月27日(土)、県民に水環境を守る事の大切さを伝え、下水道・農業集落排水・浄化槽をPRするためのイベント「水、よみがえれ!キャンペーン」が、群馬県下水道環境課の主催で行われました。

6回目となる今年は、会場を高崎市の「イオンモール高崎」に移し、協賛団体と協力企業が下水道・農業集落排水・浄化槽の役割と必要性、その仕組みなどを模型や写真パネルを使用しながら紹介したところ、約1,500名の入場がありました。

また、FMぐまによる公開生放送では、汚水処理をテーマにルー大柴さんをゲストに迎え、環境カウンセラーの片亀さん、高崎市下水道局の須藤局長と群馬県下水道環境課の白石課長とのトークショーも行われました。

※公開生放送終了後に、絵画コンクールの表彰式を行いました。



**平成21年度
事業報告**

平成21年4月
～平成22年3月

- 平成21年
 - 6月・監事会及び監査・役員会
 - ・第19回通常総会並び研修会(前橋市内)
 - 7月・全国農業集落排水事業推進協議会第20回通常総会(東京都)
 - ・農業集落排水事業にかかる情勢報告・低コスト化の取組
 - 6月～9月・農業集落排水に関する絵画コンクールの実施
 - 10月・「ぐま集排だより」編集委員会
 - 11月・現地研修会(新潟県魚沼市「処理場の統合による施設機能強化」)
 - ・農業集落排水事業推進研修会(東京都)
 - 12月・農業集落排水に関する絵画コンクール表彰式(ベトナムIS伊勢崎)
- 平成22年
 - 3月・機関誌「ぐま集排だより」(14号) 40,000部発行